

第2回

学生のための

教師未来塾

令和元年11月30日(土)

真剣に、積極的に研修を行いました！



第2回「学生のための教師未来塾」が、11月30日(土)に行われました。この研修は、教職を目指す学生等の意欲と資質・能力の向上を図ることを目的としています。休日にもかかわらず、多くの方々が県内外から集まり、真剣に、そして積極的に研修に参加し、充実した研修会となりました。

講話・演習「児童生徒理解を深めるために」



教師の仕事は、人間関係づくりが重要となります。前半は、児童生徒理解を深める視点と手立てについて考えました。そして、千葉県の生徒指導上の諸課題の現状を把握しました。後半は、事例をもとに保護者対応の仕方を考え、「もし自分が担任だったら…」と想定し、より良い対応の仕方を学びました。

講話・演習「児童生徒が主体的に考える授業づくり」

教師に必要な資質・能力の一つに「授業力」が挙げられます。講座の中で「わかる・できる授業とは何か」について考え、授業の工夫やポイントを整理しました。そして、学習指導案の書き方を学びました。次回の研修は、「自分が行いたい授業」の指導案をもとに、授業内容について研修生同士で話し合い、深めていきます。



児童生徒理解の演習は、実際の場面を想定し、その時に「どのように行動するのか」を自分で考え、班で意見交換することができてよかった。教育実習や教師になってから生かせる。



授業づくりは、今後ずっと考えていかなければならないことだと思う。クラスの実態等で授業の展開は変わるため、そこを意識して授業案を考えたい。

学校ボランティアで子供と触れ合う際、児童生徒理解という観点から、もっと子供と同じ目線で話を聞いてあげたい。実際の現場で役に立つ内容だった。



今日の研修も、BS法等の思考ツールを活用していたので、他の方々の価値観や知識の広がりを感じた。自分が悩んでいる内容だったので、とても大切に貴重な経験となった。今後の活動に生かしていきたい。